

「はやぶさ」338号 2020年04月10日(金) 社長の人生と理念経営の実戦

###free1###

###name### 様

◆コロナショックが健康と経済活動の「安心・安全」の大いなるリスクとなっております。皆様はいかがですか？ 免疫力を高めて、タフに生き抜きましょう！

~~~~~

後継者・後継社長の悩みを解決する

社長の人生と理念経営の実戦＝組織の活性化と後継者育成の成功のポイント

=====

「はやぶさ」338号 2020年04月10日(金)

【第2回】 「社長の人生の目的と経営理念」

著者：自分と周囲を幸せにする・研究所

スーパーサポーター 辻 騎志

・3代目として企業のどん底を経験。その体験がにじみ出る、「できない」を「できる」にする現状打破研修等。PHP研修所登録講師。

著書に松下幸之助の商人道を、マンガと小説にした「ショーバイ・クエスト」がある。

~~~~~

◆目次にかえて・・・5回シリーズでお届けいたします

＊＊「理念経営」と「経営理念」は、その位置づけが違います。

理念経営が上位概念です。

① #337・・・200327・・・バックナンバー

http://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722lpdf_1_393.pdf

「社長が最高に幸せで自分らしく輝いて生きるには・・・」

② #338・・・200410・・・今回の記事

「社長の人生の目的と経営理念」

③ #339・・・200424

「経営理念の根幹は社長の人生哲学」

④ #340・・・200508

「自分を幸せにする“力”」

⑤ #341・・・200522

「経営理念を浸透させるために」

＊＊予告ですので変更することがありますので、悪しからずよろしくお願いします。

①天命発見シート=天命のマングラ

社長が生きがいを持ってのびのびと働くためには、社長の個性や持ち味が発揮できる社風になっていることであることは前回お話ししました。

今回は、社長個人の人生の目的をどうやって見つけて行くのか、そしてそれをベースにどう経営理念を作っていくのかについてお話ししたいと思います。

人生の目的をどう見つけるのか、それは社長でなくても気になるころだと思えます。私の個人セッション（社長に限らず人生の目的や自分が何者として生きて行くのかを明確にしたい方対象）では、3つの性格診断と5つの天命発見シートを使って2時間×6回で自分を深く見つめていただき「天命マングラ」を作っていきますが、ではもっと一般的に人間としての人生の目的（ミッション）と言うものについて考えてみたいと思えます。

パナソニックの創業者である松下幸之助さんの著作に「人間を考える」という本があります。この中で松下幸之助さんのおっしゃっていることを噛み砕いていうと、この地球上で人間よりも影響力のある存在はいない。

人間の次が仮に猿だとしても圧倒的な差がある。ということは、人間には「**全ての命を活かす**」と言う天命が与えられているに違いない。しかるに「全ての命」どころか人間同士でさえも争ったり戦ったりしており、現状はおよそ「全ての命を活かす」には程遠いのが現実です。

その原因は2つある。1つ目の原因は、まず人間には先に書いたような「天命」があるのだと言うことを自覚していないこと（宇宙や大自然という視点から人間というものを考えていないこと）。

2つ目は、何ものにもとらわれない「**素直な心**」を持って古今東西の人類の衆知を集めていないからであると言っています。ちなみにここでいう「素直な心」とは「従順でいうことを聞く」という意味ではなく、「なにものにもとらわれることなく、物事の真実を見る心です。私心、私利私欲にもとらわれず物事おありのままを見、物事の実相を明らかに見る心です。そして、広い寛容の心、他に耳を傾ける態度にも通じる心です」と言っています。

改めて、人間誰もが共通する人生の目的は「**全ての命を活かすこと**」であることを確認しておきたいと思えます。しかし、これでは抽象度が高く、どう行動したら良いのが今ひとつわかりにくいと思えます。

②意志と愛のドラマ

そこで、もう一つ、人生の目的について違った観点から考えてみたいと思います。それは人間の本能という観点からです。ご承知の通り、人間の本能には、自己保存本能と種族保存本能があります。感性論哲学の創始者である哲学者の芳村思風（よしむらしふう）先生は、自己保存本能が発達したものが「意志」であり、種族保存本能が発達したものが「愛」であるとおっしゃっています。

種族保存本能は男女の愛ですから、これを発達させれば多くの人を愛する（誰かのお役に立つ）ことになります。こちらの方はわかりやすいと思います。

自己保存本能はもともと自分の身を守るということです。別の言葉で言えば「生きる（死なない）」ということになるでしょう。それを発達させると「良く生きる」ということになります。つまり自己実現と言って良いでしょう。

自己実現とは自分の個性や持ち味を活かして表現することです（注：私は、ベンツに乗りたいたかお金持ちになりたいといったものは自分のエゴから出ているので自己実現であり、自己実現とは区別しています）。

芳村思風先生は「人生は意志と愛のドラマである」とおっしゃっています。先の「全ての命を活かす」ということと合わせて考えると、「自分の命を最大に活かして（自分の個性や持ち味を最大に発揮して）、他者の命を活かす（人のお役に立つ）」と言えるのではないのでしょうか。

ここまで来ると、経営理念に結びつくことが容易に理解できると思います。社長自身の人生の目的もこう言ったことを踏まえて整理し、そこから経営理念を構築して行くことで、社長の命を最大に活かす経営理念が出来上がるのだと思います。

今回は#339号 200424「経営理念の根幹は社長の人生哲学」をお送りいたします。最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。では、また次号でお会いしましょう！

*****第6回ビジネスモデル発表交流大会のご報告*****

バックナンバーは

、https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls722|pdf_1_382.pdfを

ご覧ください

***お問い合わせ・質問は

メールアドレス： hos_biz@hosbiz.net

発行責任者：平本 靖夫、 編集長：石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://1lelend.com/stepmail/dela.php?no=xxewhs&a_mail=###mail###